

健康と生きがい。がシニアライフを考える

ゼン

医療法人社団
社会福祉法人
松涛会広報誌
No.60 新年号
令和2年

松涛会理念

医療・介護・福祉の連携により地域社会に貢献いたします。
～あなたの喜びが、私の生きがいです～



令和元年12月21日 松涛会感謝祭

目次

海風巻頭言

二〇二〇年の年頭に寄せて

副理事長あいさつ

院長あいさつ

「緩和ケア病棟開設20周年記念」

ホスピス緩和ケア週間講演会によせて

秋の叙勲 瑞宝単光章を受章して

医療法人ニユース

看護研究発表会・研修会

緩和ケア病棟クリスマス会

新入職員オリエンテーション

夕焼け楽団演奏会

グループホーム山の田アサギマダラ

QC発表大会に参加して

社会福祉法人ニユース

みそら保育園マーチングバンド

山口県知事賞受賞

第2回フロイデ金比羅バザーの開催

地域交流あれこれ

松涛会トピックス

松涛会文化祭

ハロウィンパレード

おもいほり

下関海響マラソン

令和元年松涛会感謝祭

安らが丘ウォーク

《安岡沖洋上風力発電建設反対街頭活動》

看護小規模多機能ケアタウンやすおか

有料老人ホームあんしんホームやすおか



<http://www.syoutokai.or.jp/kaze-que/>
アンケート随時募集中!
インターネットで対応が難しい場合は、
スタッフにお尋ねください



謹賀新年 二〇二〇年の年頭に寄せて



松涛会 副理事長
齋藤 妙子

新年おめでとぅございませす。

二〇二〇年、あけましておめでとぅございませす。今年、理事長の親愛するベートーヴェンの生誕250周年にあたり、我が国はもとより世界各国で彼の曲が流れ、素晴らしいことでしょう。また、私達が待ち望んだ東京オリンピック・パラリンピックも開催されます。

松涛会グループは、創立60周年を迎えます。下関市彦島江の浦で齋藤正樹理事長と3名の看護学生と私の計5名で齋藤医院を開設しました。改めて、地域の皆さま、諸先輩方、そしてスタッフの皆さんに感謝致します。

そして、本年元旦に、下関初となる「看護小規模多機能型居宅介護」を新設します。従来の訪問、泊まり、通所サービスに加え、医療ニーズの高い方にも対応できる複合型サービスが、介護保険で利用できます。慣れ親しんだ家で過ごしたい、その願いを看護と介護で支えます。まず気軽にご相談ください。

松涛会グループは、選ばれる医療介護に、全職員で全力で取り組んで参ります。

二〇二〇年 元旦



安岡病院 院長
戸田 健一

皆様、新年明けまして

おめでとぅございませす。

皆様には良いお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年4月に漸く、病院の増改築と病床機能再編がおわり、外来棟と西ウイング棟に緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟が、東ウイング棟に、特殊疾患病棟、医療療養病棟、介護医療院がはいり、センター棟には老健コスモスが戻ってきました。今年の2月に、病院は電子カルテ・オーダーリングシステムを整備し、二つの診療所を中心とする彦島エリアと山の田エリアの医療法人事業所ともネット回線で結び、業務の効率化と診療情報の二元化に取り組みます。

1月には、旧コスモス棟に、看護小規模多機能型居宅介護事業所と有料ホームを開設し、訪問看護介護部門と協力し、医療依存度の高い入居者に質の高いサービスの提供をめざします。

松涛会グループ内の連携と医療・看護・介護の質の向上と均一化が求められています。日々、利用者の声を聞き、ベッドサイドからの学びを積み重ね、捻りある一年にしたいと思います。

今年一年が、皆様にとって良い年になることをお祈りいたします。

二〇二〇年 元旦

「緩和ケア病棟開設20周年記念」ホスピス緩和ケア週間講演会によせて

安岡病院「緩和ケア病棟」は、平成11年（一九九九年）4月に12床でスタートしました。県内では、国立療養所山陽病院（現、国立病院機構山口宇部医療センター）に次いで、2番目の開設でした。その後改築・移転を経て、平成31年（二〇一九年）4月には西ウイング棟が完成し36床となりました。医師も専従3人体制となり、さらに充実しております。

今も昔も「がん」という言葉に対して、多くの人が「がんイコール死」「がんイコール苦痛」というマイナスの社会的イメージを持っています。現在は男性の2人に1人、女性の3人に1人が、がんになるといふ、とても身近な病気でもあります。緩和ケアは、がん治療の初期段階から受けるケアであり、終末期や看取りの支援だけが緩和ケアではありません。がんと共に、積極的に生きてゆけるよう支援するものです。

「ホスピス緩和ケア週間」は、「世界ホスピス緩和ケアデー」を最終日とした1週間、ポスターの掲示やセミナー、催しなどを通して、全国的に緩和ケアの啓発普及活動に取り組んでいます。当院では10月12日（土）の午後、地域の方々、医療関係者の皆さん約100名にお集まりいただき



看護部長 古本たつ子

ました。例年節目の年には、著名な先生をお招きして講演会を行っておりましたが、今回は緩和ケア病棟を利用された患者さんのご家族3名の方に、当時の思いをお話ししていただきました。講演会やパネルディスカッションで語られるご家族のひと言ひと言が深く、重く、医療提供者として噛みしめながら聞きました。プロフェッショナルとしての仕事への評価や感謝の言葉に、職員は元気づけられました。一般の方々にとっては緩和ケア病棟でどのようなケアが提供されているのか、とても良く伝わったのではないかと思います。

また11月9日（土）には、開設当初から継続している「思い出を語る会」を開催いたしました。第20回目を迎えた今回は、17家族28名の方に参加していただきました。映像やスタッフとの語りで振り返り、大切な方を失ったことを、ゆつくりと受けとめ次のステップに踏み出す大切な時間となりました。



緩和ケア病棟が、医療保険制度上認められて30年近く経過しました。この間、緩和ケアの定義も「治療を目標とした治療が、有効でなくなった患者に対する」から、「病期に依らず、早期に提供されるケアへと変更され、緩和ケア提供の場も多様になってきました。外来診療や地域連携での在宅療養患者へ、「生活の視点」に基づくアドバイスを提供することや、さらに「人生をどう生き抜きたいのか」という意思決定を含めて、継続的に支援するという社会的要請も大きくなっています。それに応えられるよう、これからも一年二年積み重ねていきたいと思えます。

秋の叙勲 瑞宝単光章を受章して

コスモス訪問看護ステーション 事業所長
元安岡病院 看護部長 森國 秀美



この度、令和元年秋の叙勲に際して、はからずも瑞宝単光章の受章の栄に浴しました。

11月5日山口県庁にて勲記・勲章の伝達を受け、12月13日皇居へ参内し豊明殿において天皇陛下に拝謁の栄を賜りました。緊張の1日であり、感動の1日でもありました。

看護師となつて約40年余り、松涛会にお世話になつて30年、いろいろな思いと共に感慨深く豊明殿の一角に立つことができましたのも、斎藤理事長、副理事長ご夫妻、元看護部長福本婦美子様、小原良江様、多くの松涛会の仲間の皆様、そして元緩和ケア病棟部長河野通文先生のご指導とご厚情の賜と感謝の念を深く致しました。現在、在宅看護の分野で若い訪問看護の仲間と共に、看護の力の素晴らしさに浸り、そして、伝えながら頑張っています。

今後は、叙勲の榮譽を心に刻み、ここまで支えて下さった皆様の恩に報うためにも精進して松涛会の一隅を担って参りたいと思えます。



看護研究発表会・研修会

東2病棟 看護師 永尾恵美加

12月14日(土)、看護会議研究発表会が開催されました。発表後には、福岡看護大学の飯野先生に発表内容についての講評も頂きました。発表内容に関する講評は発表メンバー以外に参加した職員も冊子を見ながら具体的に聞くことが出来ました。さらに講義の「研究、はじめの一步」では文献検索の方法について昨年に引き続き講義があり、今から看護・介護研究を行うメンバーにも勉強になったと思います。

研究委員として、これからも研究メンバーに助言ができるよう、研修に参加していきたいと思えます。



夕焼け楽団演奏会

サービス付き高齢者向け住宅

ケアタウン山の田 事業所長 勝尾 雅代

11月19日(火)夕焼け楽団さんによる演奏会が2階レストランで行われました。ケアタウン山の田は、今回で3回目の来館です。

ドラムの音が響く迫力ある演奏で歌謡曲、童謡、アツペンポのクラシック、ロックバージョンの炭坑節などが次々と披露されました。

「初めて生で聞きました」「お父さんを思い出しました」「ベースの音がよかったです」など入居者様から喜びの言葉がありました。アンコールのあと、95歳女性入居者様は、席から立ち上がり「知っている曲ばかりでとてもよかったです。こんな演奏会は見たことない。」と溢れんばかりの涙と感謝の気持ちをメンバーの皆様へお伝えしていました。



緩和ケア病棟クリスマス会

西4病棟 看護師 前田 次郎

12月20日(金)、西4病棟ラウンジにて、毎年恒例のクリスマス会を実施しました。当日は年の暮、ご多忙の中、家族様29名、患者様30名参加いただき大賑わいとなりました。

参加された皆様は、病院職員によるハンドベル演奏、普段病棟にも演奏に来ていただいている百合野先生他、ボランティアの方々による楽器演奏を楽しまれました。また創作工夫を凝らしたクリスマスパーティーも好評で、「美味しかった」「見た目も綺麗ですね」などの声を聞くことができました。会の最後はキャンドルサービス、医師の先生方が扮したサンタクロースがクリスマスプレゼントを渡し、楽しい夜を過ごしていたく事が出来ました。



グループホーム山の田アサギマダラ

グループホームケアタウン山の田

介護福祉士 米澤 朋之

3月からケアタウン山の田の入居者様、職員で協力して育てていたフジバカマに山の田、いや下関初かもしれないアサギマダラが1頭、飛来してきました！

そのアサギマダラはグループホーム職員が発見、約3時間滞在し高齢者住宅の入居者様や職員でゆつくりと鑑賞できました。また来てくれることを期待しています。アサギマダラ飛来のニュースを山口新聞様に取り上げて頂きました！取材は山の田地区まちづくり協議会の方にも同席頂き、フジバカマをケアタウン山の田で育てることとなった経緯から、発見時の詳細まで詳しく取材して頂きました。

1面の半分もスペースを使ってもらうことができ、これからも地域との連携を大切にして、多くの方に福祉の事を知ってもらおうきっかけになれば嬉しいです。



新入職員オリエンテーション

安岡病院 事務局 河野 文弥

10月15日(火)、16日(水)、17日(木)に新入職員研修を実施しました。

15日は、入職式からはじまり、松涛会のこれまでの歩みや理念、運営方針など松涛会職員としての心構えや医療・介護福祉に携わる職員としての基本的なルールについて学びました。

16日・17日は、医療法人、社会福祉法人の各施設にて案内係より、それぞれの施設の特長について説明を受けながら見学を行いました。

新入職員の方々が、松涛会の一役を担う活躍に期待しています。



QC発表大会に参加して

医療安全管理室 田中 美典

11月15日に松涛会QCサークル発表大会が開催され、医療安全管理室が優勝をいただきました。医療安全管理室では「日本一安全な与薬を目標そうぜ」というテーマで活動を行いました。今回は配薬準備に着目し、特殊疾患病棟の協力のもと手順の見直しを行いました。1週間あたりの準備時間 32時間が6時間となり、約26時間減少させることに成功しました。今後は、この活動を院内に水平展開させていき、病院全体の業務改善に繋がっていきます。医療安全管理室では、今後も医療安全文化の醸成に向けて取り組みを続けていきます。皆様のご協力よろしくお願いたします。



みそら保育園マーチングバンド

はまゆう苑デイサービスセンター 介護職員 島崎 優子

11月8日にみそら保育園の年長児 42名が鼓笛隊の演奏に来てくれました。

指揮者の合図でシンセサイザーのメロディー演奏から始まり、体の大きさほどの太鼓を持つマーチングや、シンバル・トリオのリズム演奏、ポンパトンを使った可愛いダンスなど4曲披露してくれました。

力強い演奏を聞いて、自分の孫や子の小さい頃を思い出したと涙を流される方もいらっしゃいました。あつという間でしたが素敵なお時間が過ぎました。



山口県知事賞受賞

ケアハウスオリーブ 介護職員 田上由美子

26年間も介護の仕事ができて、本当に良かったと感じています。このような賞をいただいたのは、上司や先輩、後輩の方々、そして家族の協力のおかげです。そして何より私を支えてくれたのは、入居者の皆様の笑顔です。皆様に感謝の気持ちでいっぱい입니다。

これからも相手の身になって優しい声かけを続け、入居者に寄り添った介護をしていきたいと思ひます。



第2回フロイデ金比羅バザーの開催

特養フロイデ金比羅 生活相談員 植田 高充

11月23日にフロイデ金比羅バザーが開催されました。職員が遊休品を持ち寄り、来場された地域の方々や利用者様に購入して頂きます。「安くしますよー!」との掛け声に、お客様の購買意欲は急上昇!「安くて良い物が手に入ったよ。」と喜びの声がたくさん聞かれました。今年約80名の方が来場され、昨年を上回る盛況ぶりでした。地域の方が気軽に足を運んで頂ける行事として定着するように、ぜひ来年も企画したいと思ひます。

地域交流あれこれ

特養はまゆう苑 課長 松谷 法史

グループホーム彦島では、毎月地域の方と清掃を行っています。「いつもありがとうございますの優しい言葉に心が温まります。杜の宮でも地域の方とお宮の清掃。一方、綾羅木でも地域の清掃を継続して行っています。また、フロイデ金比羅では積極的に周辺地域を清掃しており、次第に地域住民と顔なじみの関係となっています。

さらに安岡では、まちづくり協議会に係る職員が、メンバーと緒に公民館の文化祭で朗読劇に参加しました。福祉法人松涛会のいろんな部署で地域との交流を深めています。



TOPICS

松涛会文化祭 令和元年10月19日

文化祭実行委員会

天候に恵まれた文化祭、今年も大いににぎわいました。駐車場での模擬店は、早いところは昼には売り切れ状態。「喜んでいいのやら...」お客さんには申し訳ないことでした。「病院玄関では雰囲気バツチリ抹茶コーナー、エントランスでは健康コーナー。通りがかりの人への引き込みがうまいのか、次から次へとやって来て、体脂肪に骨密度測定などなど、手洗いコーナーもますますの来客でした。

午後は恒例の演芸会。厚島太鼓に始まりラストは「アンサンブル音音」演奏の大正琴、手作り感のある職員の司会に拍手、拍手、拍手でした。



文化祭展示品投票結果

- 1位 西4病棟(緩和ケア病棟) **飾り絵、小物**
- 2位 ケアハウスオリーブ **人形「サザエさんとタラちゃん」**
- 3位 脳いきいきデイサービスねぎ **置物「干支」下げもの**
- 4位 小規模多機能くみの家 **安岡病院中庭バラ園**
- 5位 コスモス通所リハビリテーション **紙芝居「さるかに合戦」**



ハロウィンパレード

今年で2回目：…ひとつ成長した17名の子どもたちと出発です。2歳児クラスの子どもは「トリックオアトリート」と合言葉を言いながらお菓子をもらいました。今年も地域の皆様、患者様、職員の皆様のご協力のおかげで、園児に伝えることができました。沢山の愛情と沢山のお菓子をありがとうございました。



やすおかKIDS

おいもほり

やすおかKIDS

自然の中、美味しい空気を満喫しながらのお芋堀り。子ども達に美味しい安納芋を楽しく掘ってもらおうと種まきから半年かけて育てました。保護者参加の芋堀り遠足の予定でしたが、残念ながら雨の為延期となりました。後日2歳児の子どもたちと全員分のお芋を掘って来ました。かわいい力持ちの保育園児が先生といっしょに全員分掘ってきました。「とったぞー」と笑顔いっぱいのお芋堀りでした。



下関海響マラソン

11月3日(日)第11回下関海響マラソンが開催されました。うっすらと雲が広がり、気温も最適なマラソン日和。海響マラソンの特長は、沿道の応援が途切れない事です。沿道からの応援が、背中を押してくれます。特にフロイデ金比羅前の大応援団の声援は、大きな推進力になります。42キロの長丁場、どんなにきつても、二人ではないなああと心強く感じます。私は今回、目標のサブフォー(4時間切り)を達成し、自己ベストを更新できました。来年は、もっと速く走れそうと、自分に期待しています。

特養はまゆう苑 若松 栄一郎



2年連続でフルマラソンに出場しました。昨年よりも50分以上速くゴールすることができました。来年も出場!!

林 拓弥

マラソン中はボランティアの方や沿道からの声援でたくさんの方がもらえました。完走する事ができて良かったです。

リハビリテーション科 泉 佳織

31キロ過ぎから足が痙攣し止まったり歩いたり繰り返して、副理事長・常務の心温かい応援と沿道の声援のおかげで5時間以内で完走することができました。

神田 正直

《救護ボランティア》

海響マラソンが始まって今年で11回目になりました。初めて救護ボランティアとして参加しました。たくさんの方の選手が自分と向き合い、つらくても走り続ける姿にとても感動しました。時間間に合わなくても、「走れるとここまで走りたい」という声に私の応援する声にも力が入りました。とても良い経験になりました。また機会があれば、何かの形で参加したいと思っています。

東3病棟 中原 珠美

《ボランティア》

今年もストレッチをしながら、近くで応援させて頂きました。30キロ地点で体は疲れていても、必死に走られている姿がとてよかったです。

リハビリテーション科 村田 奈保子

今回初めて参加しました。間近で見えて感動をもらいました。来年はランナーとして参加したいと思います。

リハビリテーション科 松尾 浩平

今年からストレッチの場所が増え、多くのランナーの方に利用して頂けたのではないかと思います。来年も参加したいと思います。

リハビリテーション科 松尾 麗礼

昨年と比較し、今年は寒くランナー方も大変だったと思いますが、どのランナーも限界まで頑張っていてよかったです。来年も関わられたらと思います。

リハビリテーション科 山口 達義



安らが丘ウォーク《安岡沖洋上風力発電建設反対街頭活動》

松涛会 常務理事 斎藤 英樹

◎「近過ぎる超大型風車は公害」

◎「私達はモルモットではない」

12月7日(土)、年末の忙しい中にもかかわらず400名を超える人達が集まり、妙光寺〜北バイパス入り口、往復約3kmのデモ行進を地域住民の皆様と共に行いました。

現在、海峡ゆめタワー(153m)の上に 10階建マンション(27m)が加わった高さの180m級の超大型風車が12基建設する計画があります。場所は、患者さんや入居者さんが入院、入居している場所からわずか1.9km先。

私達は、今いる地域で生活しています。超大型風車から発する「超微振動」や「低周波音」が人体に与える影響は未知数。

私達の命や生活を脅かす権利は誰にもありません。そして、「1社の儲け」の為だけに「地域住民がモルモット」になる必要はありません。我々が生活している場所から「わずか1.9km」しか離れていない安岡沖洋上風力発電建設計画にこれからも引き続き断固反対していきます。



山口新聞県内総合2019.12.8



※風力発電の先進国、欧米では地域住民の生活圏から平均10km以上距離をとり、風力発電を建設している。

令和元年松涛会感謝祭

広報委員会

令和元年度松涛会感謝祭を12月21日(土)に海峡メッセにて開催しました。

安倍晋三内閣総理大臣令夫人安倍昭恵様、下関市長前田晋太郎様をはじめ、来賓の方、医療法人・社会福祉法人の職員等587名が参加しました。

永年勤続表彰(25年7名、15年20名)の後、慣例の余興の6チームのパフォーマンスで会場が大変盛り上がりしました。

地域の皆様、関係企業の皆様へ今年も1年間大変お世話になりました。



スタッフ募集

「医療法人社団 松涛会」「社会福祉法人 松涛会」では、新しい看護・介護職を募集しています。

- ★患者様や利用者様、ご家族に喜んでもらえる仕事がしたい!
- ★さまざまな現場で、医療・介護のスキルを磨きたい!
- ★笑顔で仕事がしたい!

そんなあなたをお待ちしています。

■採用情報は職業安定所もしくは、下のホームページよりご応募ください。

[医療法人の求人ホームページアドレス]
<http://www.syoutoukai.or.jp/recruits/>

[社会福祉法人の求人ホームページアドレス]
<http://www.syoutoukai.or.jp/staff/>

■内容詳細等に関しましては



医療法人社団 松涛会 安岡病院

☎083-258-3711 担当/人事課

社会福祉法人 松涛会 はまゆう苑

☎083-258-3800 担当/法人事務局

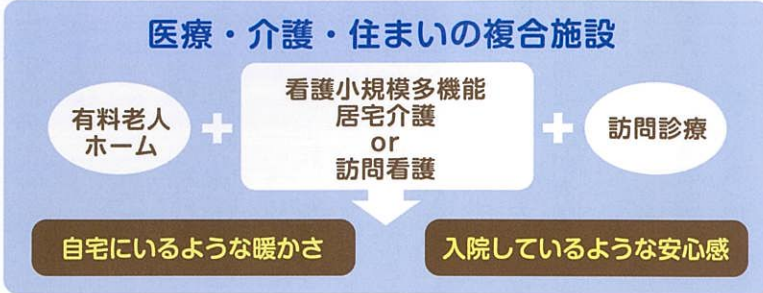


令和2年1月1日
オープン

看護小規模多機能 ケアタウン やすおか

医療ニーズの高い方にも対応できる
複合型サービスが介護保険でご利用できます。

●他の介護保険サービスを利用する場合、制約があります。



- 利用定員・登録人数 29名、通いサービス 18名、宿泊サービス 9名
- 営業時間 24時間 365日

有料老人ホーム あんしんホーム やすおか

24時間看護・ 介護体制

各種介護サービス、訪問診療を利用しながら、
ご本人様、ご家族様に寄り添う看護・介護
サービスを提供させていただきます。
(看取り対応可) ●連携協力医療機関 安岡病院

住み慣れた地域で暮らしたいあなたへ。
医療・介護・住まいの複合施設です。

- 看護小規模多機能
「通い」「訪問」「宿泊」の3つのサービスを中心に
24時間365日を支えます。
- 訪問看護ステーション
- ホームヘルパー
- 居宅介護支援事業所
- 24時間ケアサポート



4階	住宅型 有料ホーム あんしんホーム				
3階	住宅型 有料ホーム あんしんホーム				
2階	住宅型 有料ホーム あんしんホーム				
1階	看護 小規模 多機能	訪問 看護	ヘルパー	居宅 介護	24時間 ケア サポート

山口県下関市横野町3丁目1番2号
TEL.083-250-6678
FAX.083-250-6876

アクセス
サンデンバス横野停留所より歩いて10分
JR山陰線安岡駅より2.0km

